

木曾川右岸道路

市町村基幹道路整備事業(代行)

村道川北1号線

大桑村

との
殿

～交流とにぎわいの木曾路をめざして～

○整備目的及び整備効果

- ・ 一般国道19号は、愛知県名古屋市から長野県長野市に至る幹線道路であり、物流の大型車が多く利用する路線です。しかし木曾谷においては、迂回路がないことから、一旦事故が発生すると、長時間の通行止めとなり、地域の皆さんの生活に大きな影響を及ぼしています。
- ・ 県では、国道19号の代替路として、「木曾川右岸道路」の整備を進めており、大桑村野尻向～殿の間については、大桑村に代わって長野県が整備を行う代行事業（事業費は国と県が負担）により、村道川北1号線の拡幅工事を実施しました。
- ・ 本事業により、狭隘区間を解消することで、「木曾川右岸道路」の一部として利用されています。



整備前

整備後

H24.6.29 完成供用